

高齢者のペット問題

高齢者のペット問題

避妊去勢手術をしていない

 **猫**が **家の中庭に**
1匹でもいたら

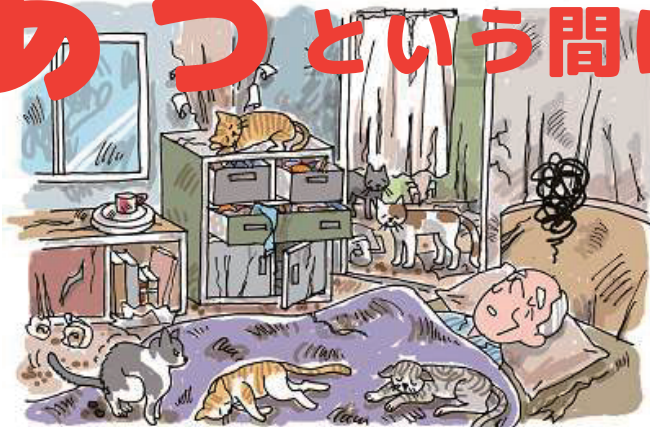


家の中だけでなく外で餌付けされていることが多いです。

「餌はやっていない」と言う方も、よく聞くと「弁当の残りはやってる」なんてこともよくあります。

猫が見当たらなくても、餌皿が外においてあれば、猫が集まっているお宅の可能性が高いです。

あつという間に



体力や認知機能の衰えにより、ペットの世話が
行き届かず、室内が汚損し不衛生な環境に

未去勢のオス猫1匹に餌やりをしていたら奥さんを3匹連れて来てそれぞれに4匹ずつ仔猫がいたということがありました。



親族も介護支援者も

全員困る

悪臭

糞尿



ノミ・ダニ
ゴキブリ

ヘルパーさんノミ被害、糞尿踏み被害多発

支援員も困りますが、残される親族は猫も財産なので引き継がなくては いけません。

連携し情報共有



未不妊の
猫発見！



手術券
の発行！



不妊化の
手伝い

猫ボランティア

オスもメスも不妊手術をしていない
1匹の猫の情報が、多頭飼育崩壊を
防ぎます

猫ボランティアを勧める



猫ちゃん可愛いですね！

猫ちゃん、避妊去勢手術し
てますか？

猫ちゃんのボランティア
さんと今度一緒に来ても
良いですか？

本人も自分が居なくなったらどうしよう
と悩んでいることもあります。
無責任な餌やりという言い方がありますが
ほとんどの場合は知識不足なだけです。

情報共有連絡先



多頭飼育崩壊が起こる前に



多頭飼育崩壊が起こる前に、未然に防ぎましょう。

初めの 1,2 匹ではあれば費用や労力もそれほどかかりませんが、10 匹、20 匹になるとなかなか捕まらない猫がいたり産後間もない猫や赤ん坊の猫が居るために手術が捗らない場合が多いです

不妊手術を行うことは何をどうするにも猫の適正飼養に必須の条件です。

環境も悪くなる為に猫の状態も悪く、手術費以外の最低限の治療費も嵩みます。